

畑野地区 市長との意見交換会（畑野会場）			
日時：令和3年12月18日(土) 18:30～20:00 会場：農村環境改善センター			
参加人数：22名			

○質疑応答

質問者	意見の要旨	市長の回答	関係部署
畑野	第3子以降に200万円給付する事業(多子世帯出産成長祝い金制度) について、財源はどこからでるのか？それが市の単費であればもったいないが、佐渡でこの施策は有効なのか。将来、合併特例債の返済などに対し、その負担人口が減少する。財源を温存すべきではないか？	これは佐渡市だけの単費。持続可能な予算を確保するため組織改革を進め、人件費の削減により、財源を確保する仕組みで行っている。子どもが産まれると、1人あたり15～20万円あたりの交付税が国から入る。できるだけ国の財源を充て、また、お金だけでなく、安心して産める社会を作ることが必要。悩んでいる方が一歩踏み込んでいただけるなら効果があると思う。	子ども若者課
飯持	高齢化により耕作できなくなった周辺農地をカバーしており、大型機械が必要でその初期投資も大きい。稲作を基盤に、特選野菜を選定しハウス栽培を行っているが、特選野菜の補助をもらっても野菜の単価が上がらないので、経営が厳しい。なにか良い作物はないか。	米作りの一番の問題は機械が非常に高い。支援を考えなくてはいけないが、抜本的解決にはならない。ハウス園芸のように、出荷時期をずらして単価を上げるのはどうか。 今後の米価の動きと国の支援策、佐渡の自給率の問題など、農業が何をすれば食べて行けるかモデル的に考え、そのモデルを支援する仕組みを作る必要がある。 すぐにこれというものが浮かばないが、抜本的に考えていく。	農業政策課
畑野	佐渡の医療を真剣に考えて頑張してほしい。 その中で、佐渡病院等中核病院に通院する公共交通機関について、畑野はとても不便である。 金畑線を通るバスがあると理想的。検討いただきたい。	医療については、離島振興法の改正の中で、離島における医療機関の充実を国に要望している。 バスについては、利便性を上げるほど、税金の投入が必要となる。持続可能という点では難しい。高齢化で免許がない方も増えるので、デマンドバスのような仕組みも含め、どんな形にするか等検討していく。	医療対策課 交通政策課
畑野	市役所の業務とは何か、「してやっている」という慢心はないか？	職員には、「お客様に感謝する行政を」と話している。問題があるケースはどうぞ言ってほしい。しかし、できないことはできないと言うので、ご理解いただきたい。丁寧な挨拶等については徹底するよう話している。また管理職自らがおもてなしするよう努力していく。	総務課
畑野	いろいろな企業との連携は評価できるが、「連携によりどうなるのか」を市民に分かりやすく説明しているか？ 例えばJALとの提携で「おもてなし」の研修等、民間団体やジオパーク、トキガイド等にもそういった研修をする考えはあるか？	企業との連携を全部説明するのは難しいと思う。ただJALとの連携を含めて、総務課に指示しているのは、まず市役所の市民サービスの強化、観光おもてなしの強化という点。JALの持つ人材プログラムを入れて、おもてなしの気持ちを持っていきたい。研修については、市が全部の団体にやりますかといえないので、意欲があればどんどん声をかけてもらえればと思う。協力してやっていきたい。	総務課 観光振興課
畑野	部長制復活がささやかれているが本当か。 もしやるなら過去の2回の悪かった点、なぜ復活するのか、メリットとデメリットを全部出す必要があると思う。決裁が一回り遅くなり、判断がつかないというようなことにはならないか。	部長制により、きちっとした合意制にし、議論をして進める行政にしたい。まず問題の1つは、課長が今30人余りいて、庁議を行っているが、多くて話がまとまりにくい。 次に、組織というものは、職によって人間が動く。課長に横の連携をやれというのは、基本的には業務の範囲を超えるため難しく、結果、縦割りができる。 子育てや、健康寿命の件、世界遺産にしても守る方と使う方と、様々取り組まなくてはいけない。いくつかの課長が集まって話しているが、そこを責任をもって調整できるのが、私の思う部長制である。	総務課
畑野	観光について、縦割り行政が邪魔をして貧弱なものになっていると思うが、「観光佐渡市」を目指す考えはあるか。	観光は、トキや世界遺産など様々なものがワンパッケージになっている。それを各課でやっていると「これは自分の課ではない」と平気という。そこをどう調整していくか。普段から課長が議論を交わして調整するセッションが必要。それが部長だと思っている。 部長には国に行ってもらいたい。県よりも国に行って省庁に行ってお金を引っ張ってくる仕組み。今、国から自治体につく予算がたくさんある。それを見逃しては、自治体にとって死を招くようなもの。だから部長には国、省庁に行ってしっかり話してほしい。その際に大事になるのは権限である。政策を作るところ、対外的な職務、人事管理、議会对応は部長にさせる。その分を外して課長が現場で専門家として力を発揮していく。それを合議制にすることにより、無駄な段階を外していく。そういう行政にしたい。議会にも説明して提案させていただいている。スピードが遅くなることは絶対避けたい。だからこそ部長制をやりたい。	観光振興課 農業政策課 世界遺産推進課 総務課

猿八	支所・サービスセンター拠点化事業について、畑野（旧畑野町）地区で協議会を作って、広い意味での町づくりについて考えられないか。	SCには、できるだけ地元に出て話をしながら、課題は何か、どんな解決ができるかを議論してほしいと話している。 コミュニティ維持のために、協議会を民を中心にやっていくのは良いと思う。地域相談員や地域おこし協力隊を入れていろんな知恵を出し合ったり、連携する大学にも話をしているので、是非意見を聞きながら行政も参加・応援していきたい。	地域振興課 畑野S C
畑野	佐渡汽船について、カーフェリー2隻体制でやっているが、年次点検の際や事故等で運行できない場合が心配。 カーフェリーが運行できなくなった場合の物流について、佐渡汽船の対応が心配。現状を考えた時、市としてはどこまで把握しているのかお聞きしたい。	何が起きてもよいよう国・県と相談している。佐渡汽船にも事故の際の対応マニュアルを確認している。貨物船の増便、ジェットフォイル便の荷物を増やす。人は何とかなるが、大量物流は難しいので、ヤマト便でコンテナ等で送る仕組みも考えている。 まずは佐渡汽船の経営状態を安定させて、カーフェリー3隻目の問題、貨物の問題についてしっかり話していく。	交通政策課
畑野	島民にとって佐渡航路は生命線。国が支援してもよいと思う。 両津港付近に立体駐車場を作ってほしい。津波の避難にも使える。警察の跡地はもう無理だが、あの辺りに立体駐車場を作ってもらいたい。	経営改善と航路維持は別問題で、離島振興法や有人離島の法令で本土と同じ権利を有することは守られている。 立体駐車場については、議論し設計もしたが立地的に出庫時の誘導スロープの角度が難しいという結論になった。	交通政策課 防災管財課